

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】令和4年5月25日(2022.5.25)

【国際公開番号】WO2019/229757
 【公表番号】特表2021-524858(P2021-524858A)
 【公表日】令和3年9月16日(2021.9.16)
 【出願番号】特願2020-565903(P2020-565903)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 3 8 / 0 8 (2 0 1 9 . 0 1)

A 6 1 P 2 1 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 7 K 7 / 0 6 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

A 6 1 K 3 8 / 0 8

A 6 1 P 2 1 / 0 0

C 0 7 K 7 / 0 6 Z N A

10

【手続補正書】

【提出日】令和4年5月17日(2022.5.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号1に記載のアミノ酸配列を含む、筋萎縮性側索硬化症(A L S)の治療を必要とするヒト対象においてA L Sを治療するために使用するペプチドであって、2 ~ 5 m g / k g の用量を前記ヒト対象に静脈内(I V)投与するためのペプチド。

【請求項2】

前記用量は3 ~ 4 m g / k gである、請求項1に記載のペプチド。

【請求項3】

配列番号1に記載のアミノ酸配列を含む、筋萎縮性側索硬化症(A L S)の治療を必要とするヒト対象においてA L Sを治療するために使用するペプチドであって、用量を漸増しながら前記ヒト対象に繰り返し静脈内(I V)投与するためのものであり、前記用量は1 . 7 ~ 5 m g / k gである、ペプチド。

【請求項4】

前記用量の漸増は0 . 3 ~ 0 . 5 m g / k gずつである、請求項3に記載のペプチド。

【請求項5】

前記用量の漸増を2 ~ 7日毎に行う、請求項3または4に記載のペプチド。

【請求項6】

前記ペプチドに関連する過敏症又は有害事象(A E)が生じた場合には前記用量の漸増を停止する、請求項3 ~ 5のいずれか一項に記載のペプチド。

【請求項7】

前記用量は2 ~ 5 m g / k gである、請求項3 ~ 6のいずれか一項に記載のペプチド。

【請求項8】

前記用量は3 ~ 4 m g / k gである、請求項7に記載のペプチド。

【請求項9】

前記A L SはA L S関連うつ病である、請求項1 ~ 8のいずれか一項に記載のペプチド。

【請求項10】

20

30

40

50

前記 A L S は急速進行性 A L S である、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載のペプチド。

【請求項 1 1】

前記 A L S は非緩徐進行性 A L S である、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載のペプチド。

【請求項 1 2】

配列番号 1 に記載のアミノ酸配列を含むペプチドを 5 % 含む組成物であって、p H が 4 . 5 ~ 5 . 5 の組成物。

【請求項 1 3】

前記ペプチドは組成物中に処方されており、前記組成物は前記ペプチドを 5 % 含み、且つ p H が 4 . 5 ~ 5 . 5 である、請求項 1 ~ 1 1 のいずれか一項に記載のペプチド。

10

【請求項 1 4】

静脈内 (I V) 投与用に処方された、配列番号 1 に記載のアミノ酸配列を含むペプチドを 1 4 0 ~ 3 5 0 m g 含む単位剤形。

【請求項 1 5】

静脈内 (I V) 投与用に処方された、配列番号 1 に記載のアミノ酸配列を含むペプチドを 3 5 ~ 9 0 m g 含む単位剤形。

【請求項 1 6】

前記ペプチドが、前記ペプチドを 5 % 含み、且つ p H が 4 . 5 ~ 5 . 5 である組成物に含まれている、請求項 1 4 または 1 5 に記載の単位剤形。

20

30

40

50